



90周年記念事業で生まれ変わる外山ハツ記念館

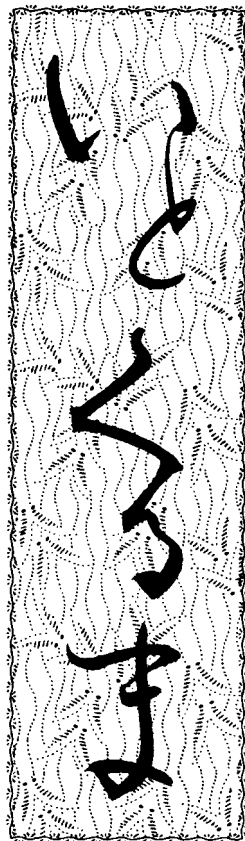


同窓生が通った校舎へと続く道

# ご挨拶

同窓会会長 平田優子

S 55年卒業(旧姓若山)



同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

この冬は、各地で観測史上初という大雪が降り、日常の生活や交通に様々な障害をもたらしました。昨年3月に起こった東日本大震災による未曾有の大災害からの復興もままならない中での度重なる自

## 第 36 号

《発行》  
函館大妻高等学校  
同 窓 会  
「いとぐるま」編集部

〒040 0002  
函館市柳町14番23号  
電 話 0138 52 1890  
FAX 0138 52 1892  
印刷 (株)第一印刷

然の脅威に、辛く厳しい生活を余儀なくされている被災地の方や、受け入れがたい現実と向き合いながら暮らしている多くの方々、春のやわらかな陽ざしに癒され、少しずつも心の平安を取り戻されていくことを願っております。

昨年の同窓会親睦会の会場で、東日本大震災で被災された方へ同窓会としても何か手助けしたいということ、例年、出席の皆様にお持ち帰りいただいている「ささやかなお土産」を付けずに、その代金を被災地へ義援金として差し上げたいと願いましたところ、全会一致で快く賛同して下さいました。受付に置かれた義援金箱へのご寄付とじゃんけんゲームで得た優勝賞金を惜しげも無く差し出して下さった優勝者の方の善意を合わせて、総額五万四千四百六十五円を赤い羽根共同募金を通じて被災地へ送らせていただきました。この場をお借りして改めて皆様の温かいお気持ちに感謝しお礼を申



し上げます。

さて、母校では、平成二十四年四月よりいよいよ創立九十周年の記念事業がスタートします。遠い昔に通った母校への道が整備され、新設されるシンボルゲートをくぐる時、また新たな歴史の一步が刻まれることを心から喜びお祝いしたいと思えます。私達同窓生は、いつもいつも母校の教えに支えられながら自分の人生を歩んで来ましたが、「函館大妻高等学校」があつたからこそ今の自分があると思えるのです。これから母校を単立つていく若い方々にもこの思いを感じてもらいたい。そのためにできること、少子化と校舎の老朽化を背負つての母校の大きな決断に、同窓生一同、今こそ一丸となつて勤勞奉仕をいたしましょう。「大妻」という固い絆で結ばれた同窓生の皆様、今後とも九十周年記念事業へのご支援、ご協力をいただけますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

# ～ 総会・親睦会が開催されました～

平成二十三年七月、同窓会総会・親睦会が開催されました。総会では、会報「いとぐるま」発刊にかかる費用が同窓会の運営費を圧迫しているという現状をふまえた上で、改善策について活発な議論が交わされました。総会での決定事項をお知らせいたします。

- 「いとぐるま」は母校創立九十周年を終えるまでは今までどおり発刊し、同窓生全員に郵送する。
- 九十周年以降も「いとぐるま」を発刊するが、年会費・寄付金を送金して下さった方、また同窓会に協力下さった方に郵送する。ただし、新入会員は母校卒業後十年間は郵送する。(在校中に維持費七千二百円をいただいているため)
- インターネット上の「函館大妻高等学校」ホームページの中に「同窓会」のページを開設し「いとぐるま」を閲覧できるようにする。
- 年会費・寄付金の振込み手数料は親睦会費と同様に自己負担とする。

これまで同窓生の皆様には多大なご協力をいただいてまいりましたが、少子化による在校生徒数の減少等、古き良き時代からの過渡期にある同窓会も時代に即した運営を迫られております。母校創立九十周年・百周年を見据え余力のある同窓会を目指して努力いたしますので、今後ともご支援ご協力下さいますようよろしくお願い申し上げます。

総会での白熱した議論の後は楽しい親睦会の幕開けです。美味しいご馳走を頂きながら、歌にビンゴにじゃんけんゲームと続き、関本トキ先生の温かいお話に聞き入り、母校の校歌でお開きに。「また来年」の約束を交わし家路につきました。皆様、七月七日にいつもの場所でお待ちしております。



気合いを入れてジャンケンショ



母校のニューフェイス



また来年、元気に校歌を歌いましょう



関本トキ先生のステキなお話でした

## 特別授業 べこ餅講習会 開催!!



真剣な表情で作り方を確認

二回目の開催で、在校生にとつては伝授のお菓子作りも機会があります。生徒たちは初めこそ先輩たちを前にして緊張の表情をしていたものの、先生の指導と、鮮やかな手さばきに、どんどん真剣な面持ちへと変わっていきま

平成二十三年六月十四日(火)、家政科三年生、家政科二年生の十九名を対象とした、べこ餅講習会が行われ、講師は、同窓生の十名の先輩方です。この講習会は、去年に引き続き

後は、みんなで一緒に作り終えた会食をし、その会心の出来栄を笑みながら食べていただきました。大妻の素晴らしい伝統は、今も受け継がれ、その一つが受け継がれたような気がします。先輩の皆さま、ありがとうございました。



あまりの美味しさに笑顔!

# 「手づくり会」 頑張ってますよ!!

本間 ち江



材料を前に真剣な眼差して

母校も来年は創立九十周年の喜びの年です。「手づくり会」は二十年程前から手づくりした物を販売し、利益を母校の発展に役立ててはという気持ちで始まり、ひと月に一度有志が集まって作品が色々出来上がっていきます。毎年総会・親睦会場で販売していますが、結果は嬉しかったりがっかりしたり：作品が売れ残った時は残念、でも来年に闘志を燃やす!!手づくりに参加はできないが作品を購入する人、家で作って提供する人、様々ですが母校を思う気持ち



手づくり作品 ペットボトル入れ



いらっしやいませー！残りわずかですよー！

ちは一緒です。皆さんの協力あつての「手づくり会」、これからも九十年・百年と続けて行けるようによろしくお願ひいたします。



東京支部26回同窓会



祝 創立40周年 札幌支部総会・懇親会

元気な笑顔でハイ・チーズ！ 札幌・東京両支部の皆様

支部会開催されました

## 同窓会本部掲示板

### 平成24年度バザーのお知らせ

- ・手づくり品販売...平成24年7月7日(土)  
同窓会総会当日：花びしホテルにて
- ・食品販売...平成24年7月15日(日)  
大妻祭当日：大妻高校にて
- ・物品販売...同上(大妻祭にて)  
今年も物品販売によるバザーを開催しますので、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。  
連絡先：阿部(0138-41-0485)

### 手づくり会のお知らせ

同窓会では、母校創立90周年に向けて、手づくりの小物等を作り、同窓会総会当日に販売しています。1人でも多くの方のご参加をお待ちしております。手づくり作品の送付も受付けております。

期間：2月～11月までの毎月第3土曜日  
場所：母校・大妻会館 時間：午前10時～午後3時  
連絡先：本間(0138-32-5498)

## 支部総会のご案内

- 札幌支部  
日時 平成24年5月12日(土)午前11時～  
場所 札幌サンプラザホテル  
会費5,000円  
連絡先 吉田 富子 (S23年卒業)  
TEL 0133 73 3208
- 東京支部  
日時 平成24年6月9日(土)正午12時～  
場所 京王プラザホテル  
会費8,500円  
連絡先 杉本 幸子 (S33年卒業)  
TEL 03-3875-0902
- 日高支部  
交流会  
日時 平成24年9月1日(土)午後6時～  
場所 うらかわ優駿ビルレジAERU(アエル)  
会費7,000円  
連絡先 岡田代志子 (S48年卒業)  
TEL 0146-28-1837

# ご案内

## 平成24年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日時 平成24年 7月 7日 (第1土曜日)  
 親睦会 PM 5:00 親睦会 PM 6:00  
 会場 花びしホテル ☎57-0131 (函館市湯川町1-16-18)  
 会費 5,500円 但し、新入会員は3,000円  
 (温泉にご入浴もできます)  
 申込 平成23年 6月25日までに同封の振込用紙でお申込みください。  
 宿泊申し込みは、同窓会副会長 金子(TEL(0138)41-6512)まで  
 カメラ等は、各自でご用意下さい。  
 6月30日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

## 申し込み連絡先

同窓会事務局  
 工藤真知子(教諭)  
 〒040 0002  
 函館市柳町14番23号  
 電話(0138)52 1890  
 FAX(0138)52 1892  
 大妻高校内  
 当番幹事 同窓会役員

## 「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送や各支部助成金等に充てられます。本年度も多くの方々のご協力・ご送金をよろしくお願いいたします。

### ◆◆◆ 年会費集計状況 ◆◆◆

皆様のご協力ありがとうございます  
**平成23年度**  
**213,610円**  
 (平成23年12月31日現在)

### 【同窓会事務局】

会書計	副幹事長	普 通 科	食 物 健 康 科	家 政 科	福 祉 科	平成二十二年 度卒業同窓会 幹事
T 西本 千春	T 山口 陽子	2 組	1 組	青 大 成 坂 山	泉 田 本 本	
S 55年卒	H 3年卒	詩 織	香 織	千 草	麻 衣 悠	
S 55年卒	S 55年卒					

平成23年度バザー売上金	
手づくり品販売収益金(同窓会総会にて)	183,957円
食品販売収益金(大妻祭にて)	83,674円
物品販売収益金(大妻祭にて)	100,270円
ご協力ありがとうございました。	合計 367,901円

## 平成22年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書 (平成22年4月～平成23年3月)

【収入の部】				
項 目	予 算 額	決 算 額	増	減
1 維持費	1,104,400	1,088,000		16,000
2 入会金	152,000	152,000		0
3 年会費	500,000	261,480		238,520
4 福利厚生事業収益金	100,000	129,176		29,176
5 預金利息	1,000	331		669
6 雑収入	0	19,451		19,451
7 前年度繰越金	394,570	394,570		0
合 計	2,251,570	2,045,008		206,562

【支出の部】				
項 目	予 算 額	決 算 額	増	減
1 総会議費	50,000	50,000		0
2 会務費	30,000	14,897		15,103
3 事務費	30,000	10,367		19,633
4 会報発刊費	800,000	687,177		112,823
5 活動費	50,000	40,804		9,196
6 慶弔費	200,000	254,050		54,050
7 出張費	150,000	112,600		37,400
8 支部助成金	260,000	234,080		25,920
9 記念品	150,000	135,555		14,445
10 積立金	400,000	100,000		300,000
11 予備費	131,570	0		131,570
12 次年度繰越金	0	405,478		405,478
合 計	2,251,570	2,045,008		206,562

会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

## 「寄付金」のお願い

「母校創立90周年記念行事」への取組として、21年度より皆様にご協力いただいております寄付金ですが、毎年の積立金と合わせましても、目標の1,000万円までにはまだまだ遠い道程です。平成25年のご慶事に向けて、なお一層のご協力・ご送金をお願いいたします。

現在の寄付金状況 **2,973,880円**

「90周年記念行事」への取組 (平成23年12月31日現在)	
特別会計積立金	2,563,195円
手作り作品販売利益積立金	1,342,068円
寄付金	2,973,880円
合計金額	<b>6,879,143円</b>

### 編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」とよく言いますが、今年の冬は例年と違い、いつまでも続く寒さに体調を崩された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。同窓会も来年10月のご慶事に向けて、いよいよラストスパートをかける時がやってきました。寒さを耐え抜き花を咲かせる桜のように、厳しい財政状況を切り抜け90周年という大輪の花を咲かせられるよう、皆様と心をつなげて頑張りたいと思っております。

# 同窓生の皆様へ

## 1 コイン

函館大妻高等学校 理事長 西野 鷹 志

女気がないはずのトラピスト修道院で、女の声が理事長先生と呼んだびつくりして振りむくと、ゲストハウス客室係で大妻の卒業生と名乗った。校長室で外山八ツから大目玉を食ったことも再三で、そのおかげで今の自分があり母校には感謝あるのみ、とつぶやいた。彼女は修道士の服などの繕いものを手早くやってくれ、大助かりと修道院長。

校長室で外山八ツと二代目外山正がやり合っていた。正！二階建てなんて駄目。生徒が落ちたらどうする？おばあちゃん、生徒がふえ校舎も狭くなり、かなり古びてきた。建て直し、増築をしたい。正、良妻賢母の教えにひかれて大妻に来るんですよ、建物ではない！でも、中身も大事だけど、古くさい校舎には生徒は来ないご時世なんですよ。

正は、つぎつぎと建て替えていった。本校舎、西校舎、第一体育館……。現在の校舎のほとんどは、二代目によるものだ。時はめぐり本校舎の建設から四十年、西校舎も三十五年の歳を重ねた。老いはかくせない。生徒の安全面でも耐震化を迫られている。そこで、薄べらい財布の許すぎりぎり、女子専門高校の歴史と将来を考えた校舎を建てようとした。

来年、創立九十周年をむかえる。よくぞこの歳まで永らえたもんだ。これも八ツの創立理念一女性の自立、良妻賢母が、時が移ろうとも何時の世でも受け入れられる普遍であるから。

今春、バス通りから校門までの通学路にシンボルゲートを造る。母校のゲートを通りぬけると、わくわくを感じていただけたらと思う。二年後、百周年にむけて校舎の新築に取りかかる。三階建てと八ツが聞いても、学園の明るい未来のためにGO！と尻をたたくだろう。

事業費六億円。同窓生の皆さん、母校の財布を重たくするために、1 コインのご寄付をお願いします。

## ”校舎の若返り“にご協力を!!

函館大妻高等学校 校長 池田 延 己

平均年齢35歳。職員室の中がグングン若返っている。私が勤務した当時は、外山八ツ校長もその右腕の神田マス子先生も元氣ハツラツで、”きかん坊“の私は毎日のように、”キョウイクテクシドウ“を受けていた。職員室の中は関本専教教頭、上嶋、佐古、渡辺、本間ち、巴、小板、矢萩、金山先生等々、八ツ校長から直接薫陶を受けた先生方が綺羅星のごとく机を並べていた。その先生方から指導を受けた若かった先生方も退職され、大妻高校創立時のことや風呂敷包みを背負い徒歩で生徒募集をした苦労話、一人ひとりに対して厳しくも愛情に裏打ちされた生徒指導の方法等、直接指導を受けたのがとうとう私一人になってしまった。その私も最近”トシ“を実感し始めている。当時の家庭科の個性あふれる”ベテラン名物先生“を思い出すのも、そのせいかも知れない。

そして私同様、校舎も”年季“が入ってきている。生徒が安全な校舎で安心して授業を受けることができるように、耐震化と新築、バス通りのアプローチを思い切って整備することになった。最近では水道管の亀裂・破損なども顕著になり、インフラ整備の支出が増加してきていることも背景にある。

今回の事業は、大妻高校の「伝統」と言う名のバトンを次世代に引き継ぐためにも、絶対に成功させなければならない。既に実践しているが、先生方にも聖域の無い経費の削減・節約をお願いしている。しかし、借金を背負っての記念事業にならざるを得ないのも事実。総事業費6億円。将来の借金を少しでも小さくするため、同窓生の皆さん、家計の許す範囲で結構です。一口でも二口でもご寄付いただければと思います。校舎の若返り“にご協力ください。よろしく申し上げます。

【函館大妻学園創立90周年記念事業】  
函館大妻高等学校「外構工事」完成予想図



〔正面奥の建物は平成26年に取壊し〕  
〔建替え予定の本校舎概略図です。〕